

目標達成計画

作成日: 平成 24年 3月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	心身の重度化への対応力に職員間で格差があり、夜勤を含めた24時間のケアの平準化を図り、質を高める必要がある。	利用者一人一人の認知症の原因疾患や合併症を含めた特性を再把握し、適切なケアにより不安なく心穏やかに暮らせる。	①引き続き、ひもときシートによる勉強会で気づきを高め、一人一人への理解を深める。 ②訪問看護との協働も推進し、多角的な情報を得て、タイムリーで適切なケアを提供する。	12ヶ月
2	23	日常的な場面のみならず、ライフステージとしてのお一人一人の希望にも対応し、QOLの向上を図っていく	誕生日等に、実現可能なご本人の「したい事」「行きたい所」が叶えられる。	誕生日に向かって、ご家族に負担をかけない範囲で、ご本人の希望が叶えられるよう、担当者を中心に、準備・計画・実施を行っていく。	12ヶ月
3	4.5	運営推進会議の活用を幅広く図る	一般職員も交代で参加し、グループホームの運営における職員の社会性を高める。	①一般職員が交代で参加できるシフトを組み、参加者の意見を直接見聞きすることで、課題解決の推進を図る。 ②目標達成計画の進捗状況を運営推進会議の場で確認し、共に評価する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。